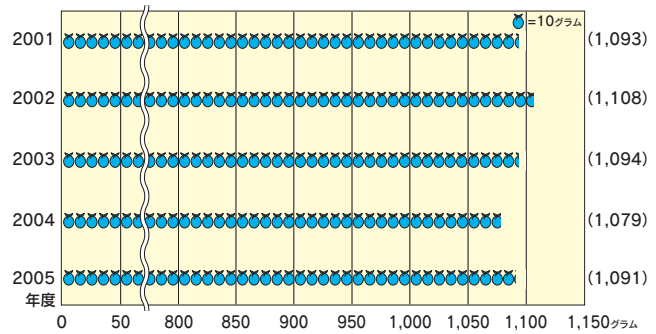


## (2) ごみと住みよいくらし

生活が便利になるにつれて、わたしたちの出すごみの量（排出量）はとても多くなり、2005年度（平成17年度）では、県全体で約84万トンとなっています。

### ●1人1日当たりのごみの排出量のうつりかわり



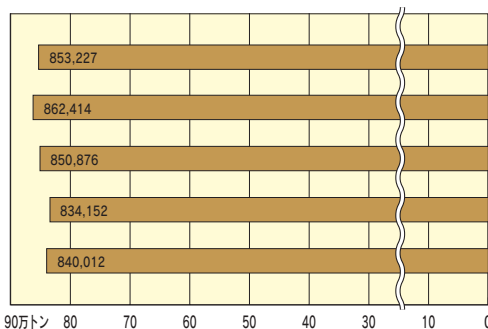
また、これを県民1人1日当たりのごみの排出量はいしゅつりょうになおすと、2005年度（平成17年度）では1,091グラムとなっています。

また、ごみを処理するために、毎年、たくさんのお金が使われています。集めたり、燃やしたり、埋め立てたりうするのに、2005年度（平成17年度）では県民1人当たり年間約8,000円の費用がかかっています。

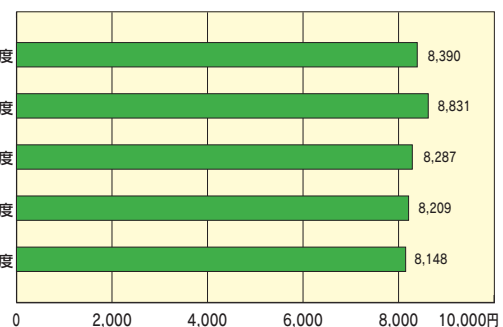


ごみの埋め立て処分場（三春町）

### ●ごみの排出量のうつりかわり



### ●県民1人当たりの処理費用のうつりかわり





リサイクルプラザ「クリンピーの家」(いわき市)



ペットボトルから  
ボールペンや定規を  
作ることも  
できるんだ

増え続けるごみを少しでも少  
なくするため、

- ①食べのこしをしない
- ②物を大切に長く使う
- ③再利用できるものは上手に<sup>じょうず</sup>利用する

など、資源を大切に利用するこ  
とが必要です。また、ごみを出  
すときは、再利用できるものと  
できないものにきちんと区別す  
るなど、みんなが協力してごみ  
を減らすことが必要です。

## ごみの利用

せいそう工場では、ごみを燃やしたときの熱を温水プー  
ルや発電などに利用しています。



あぶくまクリーンセンター(写真左)とその熱を利用したヘルシーランドの温水プール(福島市)